

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL http:// gu3. co. jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 國光 宏尚
 問合せ先責任者（役職名） 代表取締役副社長（氏名） 川本 寛之 (TEL) 03 (5358) 5322
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 3 月 11 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成 28 年 4 月期第 3 四半期の連結業績（平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|------------------|--------|-------|--------|---|--------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28 年 4 月期第 3 四半期 | 16,075 | △22.0 | △1,623 | — | △1,666 | — | △2,132 | — |
| 27 年 4 月期第 3 四半期 | 20,621 | — | 420 | — | 292 | — | △225 | — |

（注） 包括利益 28 年 4 月期第 3 四半期 △2,196 百万円（—％） 27 年 4 月期第 3 四半期 △198 百万円（—％）

| | 1 株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益 |
|------------------|------------------|-------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28 年 4 月期第 3 四半期 | △72.26 | — |
| 27 年 4 月期第 3 四半期 | △9.02 | — |

- （注） 1. 当社は、平成 26 年 8 月 1 日付で普通株式 1 株につき 500 株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの 1 株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28 年 4 月期第 3 四半期 | 19,119 | 13,790 | 72.1 |
| 27 年 4 月期 | 23,658 | 16,801 | 70.6 |

（参考）自己資本 28 年 4 月期第 3 四半期 13,790 百万円 27 年 4 月期 16,704 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|----------|----------|----------|------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27 年 4 月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28 年 4 月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28 年 4 月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 4 月期の連結業績予想（平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1 株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|--------|---|--------|---|---------------------|---|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,275 | △22.7 | △2,323 | — | △2,466 | — | — | — | — |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- （注） 1. 「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1 株当たり当期純利益」については、税効果の見積りが困難であるため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年4月期3Q | 29,751,500株 | 27年4月期 | 29,014,500株 |
| 28年4月期3Q | —株 | 27年4月期 | —株 |
| 28年4月期3Q | 29,514,865株 | 27年4月期3Q | 24,985,952株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成26年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は16,075,440千円、営業損失は1,623,038千円、経常損失は1,666,497千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,132,795千円となりました。

当第3四半期連結累計期間に関する主な要因は次のとおりです。

①売上高

売上高は16,075,440千円となり、前年同期に比べ、4,546,204千円の減少となりました。これは主に、当社子会社の株式会社エイリムが2013年7月に配信を開始したネイティブアプリ「ブレイブ フロンティア」の売上高減少によるものです。一方、当社と株式会社フジ・スタートアップ・ベンチャーズにより設立された株式会社Fuji&gumi Gamesが開発し当社が2014年10月に配信を開始したネイティブアプリ「ファントム オブ キル」が好調に推移し、2016年1月には累計300万ダウンロードに到達する等、当第3四半期連結累計期間の業績に貢献しております。

②営業損失

営業損失は1,623,038千円（前年同期は、420,347千円の利益）となりました。これは主に、売上高の減少によるものです。一方、売上高に連動して推移する支払手数料の減少等により売上原価が12,805,360千円となり、前年同期に比べ、522,551千円の減少となりました。また、広告宣伝費の減少等により販売費及び一般管理費は4,893,118千円となり、前年同期に比べ、1,980,268千円の減少となりました。

③経常損失

経常損失は1,666,497千円（前年同期は、292,642千円の利益）となりました。これは主に、営業損失の計上等によるものです。なお、第2四半期連結累計期間に営業外収益として24,227千円、営業外費用として85,215千円を計上しております。また、当第3四半期連結会計期間に営業外収益として53,993千円、営業外費用として36,464千円を計上しております。

④親会社株主に帰属する四半期純損失

親会社株主に帰属する四半期純損失は2,132,795千円（前年同期は、225,291千円の損失）となりました。これは主に、経常損失の計上によるものです。なお、第2四半期連結累計期間に特別利益として事業譲渡益335,910千円、特別損失として減損損失385,372千円を計上しております。また、当第3四半期連結会計期間に特別損失として投資有価証券評価損164,208千円を計上しております。

なお、当社はモバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,119,010千円となり、前連結会計年度末比4,539,346千円減少となりました。これは主に、現金及び預金及び売掛金の減少によるものです。

負債は5,328,527千円となり、前連結会計年度末比1,528,188千円減少となりました。これは主に、買掛金、未払法人税等及び長期借入金の減少によるものです。

純資産は13,790,482千円となり、前連結会計年度末比3,011,157千円減少となりました。なお、自己資本比率は72.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期第4四半期の連結業績予想の前提条件は以下の通りです。なお、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」につきましては、モバイルオンラインゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、将来の課税所得が短期的に大きく変動する可能性があること等から、繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難なため開示しておりません。

① 売上高

売上高はタイトル毎に積み上げ、予想値を算出しており、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の売上実績等を考慮し予想値を算出しており、リリース後、一定期間を経過した後に収益が通減することを見込んで算出しております。

新規タイトルは期待値に応じて売上高を4つに区分し予想値を算出しております。また、他社IPを使用したタイトルの場合はIPの知名度等を考慮し予想値を算出しております。

なお、平成28年4月期第4四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

・既存タイトル

A)「ブレイブ フロンティア (日本語版)」に関しては、MAUがリリース後の期間経過に伴い減少することを考慮し、当第3四半期(※)に比べて約10%の減少を想定しております。ARPMUについては幻想進化等新たな機能追加の実施に伴い、当第3四半期に比べて約30%上昇することを想定しております。そのため、当第3四半期に比べて約20%の売上高増加を見込んでおります。

B)「ブレイブ フロンティア (海外言語版)」に関しては、ARPMUを当第3四半期と同水準に想定しております。MAUについてはリリース後の期間経過に伴い減少することを考慮し、当第3四半期に比べて約20%の減少を想定しております。そのため、当第3四半期に比べて約20%の売上高減少を見込んでおります。

C)「ファントム オブ キル」に関しては、4月より機能追加や大型プロモーションを実施するも、第4四半期への寄与が限定的なため、MAU、ARPMUに関しては当第3四半期と同水準に想定しております。そのため、当第3四半期と同水準の売上高を見込んでおります。

D)「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」に関しては、積極的なゲーム内施策の追加や有力IPとのコラボを実施することから、当第3四半期に比べて売上高増加を見込んでおります。

・新規タイトル

売上高については僅少を見込んでおります。

(※) 第3四半期 : 平成27年11月～平成28年1月

② 営業利益

営業利益は、売上原価(以下、「原価」)並びに販売費及び一般管理費(以下、「販管費」)を考慮し予想値を算出しております。原価はタイトル毎に運営費と開発費を積み上げ、予想値を算出しており、売上高同様、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の運営実績と今後の運営スケジュール等を考慮し予想値を算出しております。

新規タイトルのうち開発承認済みのタイトルは開発計画を考慮し、開発承認前のタイトルは過去の類似タイトルの実績等を考慮し予想値を算出しております。

なお、プラットフォームへの支払手数料及びサーバー費等の通信費は、売上高に一定割合で連動するように算出しております。

販管費は、費目別に費用を積み上げ、予想値を算出しております。主な費目として、人件費は既存従業員に係る給与手当及び法定福利費等に加え、今後の採用計画に基づく新規採用者に係る人件費を考慮し予想値を算出しております。広告宣伝費は、新規タイトルのリリース予定やタイトル毎のプロモーション計画に合わせて予想値を算出しております。減価償却費は固定資産の取得等の設備投資計画を考慮し、また開発費は原則発生時に費用化していることから一部のタイトルを除き、ソフトウェア資産には計上しておりません。

なお、平成28年4月期第4四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

A)運営費及び開発費に含まれる人件費に関しては、平成28年3月11日に公表しております「海外子会社の再編及び特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、一部海外子会社の再編を行うことから、当第3四半期と比べて減少を見込んでおります。

B)運営費及び開発費に含まれる外注費に関しては、複数本のタイトルがリリース間近であることから、当第3四半期と比べて増加を見込んでおります。

C)広告宣伝費に関しては、「ファントム オブ キル」において大型プロモーションの実施及び新規タイトルの配

信に伴うプロモーションを想定し、当第3四半期と比べて約570百万円の増加を見込んでおります。（新規タイトルの動向等により金額が増加する可能性があります。）

③ 経常利益

経常利益につきましては、営業利益に当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。なお、平成28年4月期第4四半期におきましては、営業外費用として借入金に係る支払利息を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が935,361千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年 4 月30日) | 当第3 四半期連結会計期間 (平成28年 1 月31日) |
|-------------|---------------------------|---------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,850,400 | 13,096,856 |
| 売掛金 | 2,394,401 | 1,847,677 |
| その他 | 302,076 | 461,872 |
| 流動資産合計 | 20,546,878 | 15,406,406 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 339,784 | 281,725 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 233,249 | 181,568 |
| その他 | 637,128 | 637,906 |
| 無形固定資産合計 | 870,378 | 819,474 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,177,534 | 2,007,335 |
| その他 | 723,780 | 604,068 |
| 投資その他の資産合計 | 1,901,314 | 2,611,403 |
| 固定資産合計 | 3,111,477 | 3,712,603 |
| 資産合計 | 23,658,356 | 19,119,010 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年 4 月 30 日) | 当第 3 四半期連結会計期間 (平成28年 1 月 31 日) |
|---------------|-----------------------------|------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 766,360 | 368,097 |
| 短期借入金 | 1,500,000 | 1,500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 未払法人税等 | 372,513 | 78,323 |
| 賞与引当金 | - | 97,124 |
| その他 | 1,372,731 | 1,192,881 |
| 流動負債合計 | 5,011,605 | 4,236,426 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,750,000 | 1,000,000 |
| 資産除去債務 | 89,916 | 87,220 |
| その他 | 5,194 | 4,880 |
| 固定負債合計 | 1,845,110 | 1,092,100 |
| 負債合計 | 6,856,716 | 5,328,527 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,840,544 | 8,946,644 |
| 資本剰余金 | 8,830,544 | 8,001,282 |
| 利益剰余金 | △1,107,678 | △3,240,473 |
| 株主資本合計 | 16,563,410 | 13,707,454 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,303 | 14,379 |
| 為替換算調整勘定 | 137,009 | 68,649 |
| その他の包括利益累計額合計 | 141,312 | 83,028 |
| 非支配株主持分 | 96,917 | - |
| 純資産合計 | 16,801,640 | 13,790,482 |
| 負債純資産合計 | 23,658,356 | 19,119,010 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 20,621,645 | 16,075,440 |
| 売上原価 | 13,327,911 | 12,805,360 |
| 売上総利益 | 7,293,733 | 3,270,079 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,873,386 | 4,893,118 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 420,347 | △1,623,038 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 803 | 2,164 |
| 経営指導料 | 7,200 | 7,200 |
| 消費税等免除益 | 7,806 | - |
| 補助金収入 | 15,187 | 48,798 |
| その他 | 5,799 | 20,058 |
| 営業外収益合計 | 36,796 | 78,220 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,089 | 21,902 |
| 為替差損 | 63,720 | 60,488 |
| 株式交付費 | 56,963 | 511 |
| 持分法による投資損失 | 22,668 | 38,659 |
| その他 | 4,059 | 117 |
| 営業外費用合計 | 164,501 | 121,680 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 292,642 | △1,666,497 |
| 特別利益 | | |
| 事業譲渡益 | - | 335,910 |
| その他 | - | 10,970 |
| 特別利益合計 | - | 346,880 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | - | 385,372 |
| 投資有価証券評価損 | - | 164,208 |
| その他 | - | 58,050 |
| 特別損失合計 | - | 607,631 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | 292,642 | △1,927,248 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 511,067 | 137,861 |
| 法人税等調整額 | 4,254 | 72,672 |
| 法人税等合計 | 515,321 | 210,533 |
| 四半期純損失(△) | △222,678 | △2,137,782 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△) | 2,612 | △4,986 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △225,291 | △2,132,795 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △222,678 | △2,137,782 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,062 | 10,076 |
| 為替換算調整勘定 | 21,233 | △68,918 |
| その他の包括利益合計 | 24,296 | △58,842 |
| 四半期包括利益 | △198,382 | △2,196,624 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △199,986 | △2,191,078 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,604 | △5,545 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。これに伴う影響は、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更 (企業結合に関する会計基準等の適用)」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(海外VR/AR市場への投資を目的としたベンチャーキャピタルファンドに対する出資及びジェネラルパートナーへの参画)

当社は、平成28年2月19日開催の取締役会において、連結子会社であるgumi America, Inc. (以下、「gumi America」)を通じ、ベンチャーキャピタルファンドであるVR FUND, L.P. (以下、「当ファンド」)へ出資することを決議いたしました。また、gumi America が当ファンドのジェネラルパートナー(※)であるVR FUND PARTNERS, L.L.C. に共同事業者として参画することとなりました。

(※) ジェネラルパートナー：無限責任組員

1. 当ファンドへの出資及びジェネラルパートナーへの参画の目的

本件は、グローバルにて成長著しいVR(Virtual Reality：仮想現実)市場、AR(Augmented Reality：拡張現実)市場において、当社グループにおける将来の収益機会の確保を目的として、主に米国の優良企業への出資を行うべく、豊富な投資経験及び起業家との強固なネットワークを有するVR FUND PARTNERS, L.L.C. の共同事業者として当ファンドの運営を行うものであります。当社グループは、本件を通じ、有力な技術・コンテンツ・人材を保有する企業との戦略的な連携を図ることで、事業展開を加速してまいります。

2. 当ファンドの概要

| | |
|------------|--|
| 名称 | VR FUND, L.P. |
| 所在地 | 3150 Porter Dr., Palo Alto, California 94304-1212 U.S.A. |
| 事業内容 | 米国を中心とした VR/AR 市場への投資 |
| 設立日 | 平成27年11月25日 |
| ジェネラルパートナー | VR FUND PARTNERS, L.L.C. |
| ファンド総額 | 上限50百万米ドル～80百万米ドル(予定) |

3. ジェネラルパートナーの概要

| | |
|-------|--|
| 名称 | VR FUND PARTNERS, L.L.C. |
| 所在地 | 3150 Porter Dr., Palo Alto, California 94304-1212 U.S.A. |
| 共同事業者 | Marco DeMiroz, Tipatat Chennavasim, gumi America, Inc. |
| 事業内容 | 米国を中心とした VR/AR 市場への投資 |
| 設立日 | 平成27年10月22日 |

4. gumi America, Inc. の概要

| | |
|--------|--|
| 名称 | gumi America, Inc. |
| 所在地 | 795 Folsom Street 1st Floor, San Francisco, CA 94107 |
| 代表者の氏名 | 川本 寛之 |
| 事業内容 | モバイルオンラインゲームの開発・運用 |
| 資本金 | 525 千米ドル |
| 設立日 | 平成24年4月6日 |

5. 業績への影響

当期については、事業期間が比較的短期であることから、当期業績への影響は軽微と見込んでおります。ただし、今後は当ファンドの運営に関して配当収益等が発生する可能性があります。

(海外子会社の再編)

当社は、平成28年3月11日開催の取締役会において、当社グループの海外子会社の再編について下記のとおり決議いたしました。

1. 海外子会社再編の目的

当社グループは、平成24年より、モバイルオンラインゲームのグローバルなコンテンツ配信網の構築及び海外における地産地消タイトルの開発体制の構築を図るべく、積極的な海外展開を行ってまいりました。

自社・他社タイトルの海外配信に関しては、各地域に根ざしたローカライズ及びマーケティングの徹底によりグローバルなコンテンツ配信網を構築し、「ブレイブ フロンティア」等のヒットタイトルを展開することができました。一方、海外における地産地消タイトルの開発も積極的に行ってまいりましたが、今般、各海外子会社における開発タイトルのクオリティを精査した結果、選択と集中により経営資源の最適化を図る必要があると判断し、一部海外子会社の事業撤退及び事業縮小を決定いたしました。

当再編により、引き続き海外事業における収益力の更なる強化を図ってまいります。

2. 海外子会社再編の内容

(1) 事業撤退を行う子会社の概要

| | |
|-----------|--|
| 名称 | gumi Canada, Inc. |
| 所在地 | Metrotower II, 4720 Kingsway, Suite 2330, Burnaby, BC, V5H 4N2, Canada |
| 事業内容 | モバイルオンラインゲームの開発・運用 |
| 代表者の氏名 | 國光 宏尚 |
| 資本金 | 300千カナダドル |
| 設立年月日 | 平成26年8月13日 |
| 大株主及び持株比率 | 当社 100% |
| 再編内容 | 営業活動の停止 |

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 名称 | gumi Germany GmbH |
| 所在地 | Oranienplatz 2, 10999 Berlin, Germany |
| 事業内容 | モバイルオンラインゲームの開発・運用 |
| 代表者の氏名 | 國光 宏尚 |
| 資本金 | 240千ユーロ |
| 設立年月日 | 平成27年1月29日 |
| 大株主及び持株比率 | 当社 100% |
| 再編内容 | 営業活動の停止 |

(2) 事業縮小を行う子会社の概要

| | |
|-----------|---|
| 名称 | gumi America, Inc. |
| 所在地 | 795 Folsom Street 1st Floor, San Francisco, CA 94107 |
| 事業内容 | モバイルオンラインゲームの開発・運用 |
| 代表者の氏名 | 川本 寛之 |
| 資本金 | 525千米ドル |
| 設立年月日 | 平成24年4月6日 |
| 大株主及び持株比率 | 当社 100% |
| 再編内容 | 開発拠点であるオースティン支社を閉鎖 サンフランシスコにおける、ビジネスディベロップメント、マーケティング及び 投資機能は維持 |

| | |
|-----------|---------------------|
| 名称 | 谷米信息技术(上海)有限公司 |
| 所在地 | 上海市黄浦区北京西路1号新金桥广场5B |
| 事業内容 | モバイルオンラインゲームの開発・運用 |
| 代表者の氏名 | 國光 宏尚 |
| 資本金 | 1,000千米ドル |
| 設立年月日 | 平成24年8月16日 |
| 大株主及び持株比率 | 香港谷米有限公司 100% |
| 再編内容 | 人員数の適正化 |

※香港谷米有限公司は、当社の100%出資会社であります。

3. 連結業績に与える影響

当再編により、平成28年4月期第4四半期連結会計期間において、海外子会社の整理に係る損失として約360百万円の特別損失を計上する見込みであります。